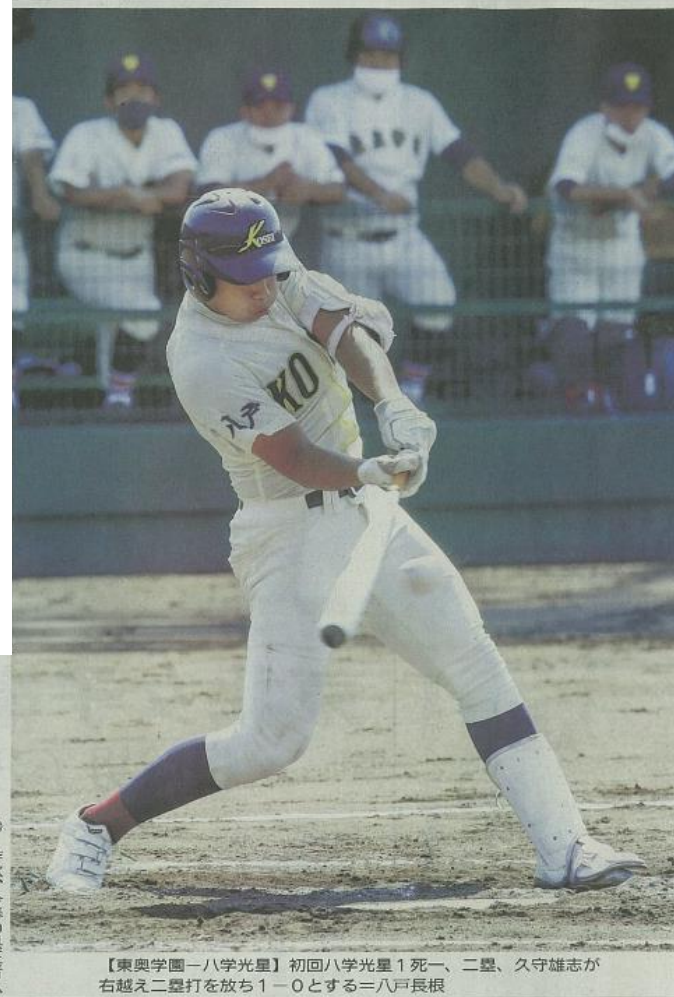


第103回 全国高校野球選手権
 青森大会



【東奥学園—八学光星】初回八学光星1死一、二塁、久守雄志が右越え二塁打を放ち1-0とする=八戸長根

つなぐ光星 快勝発進

○：昨秋、今春の県王者八学光星が、2年ぶりの甲子園出場へ盤石の一步を踏み出した。今春の県大会では接戦が多かったことを踏まえ、打線は引く張ることに固執せず、中堅から逆方向への打撃を徹底。3安打3打点の主砲久守雄志は「自分が決めるのではなく、後ろにつなぐことを全員が貫いた」と満足。14安打10本が単打と、練習通りの打撃を原せた。

一塁側スタンドでメガホンをとったキールを送る仲間に応えるように、三回は深野友歩、伊藤巧将、横山永遠、久守雄志が4連打を浴びせ、得点を重ねた。1番打者として3安打を放ちチームを勢いづけた深野は「チームの決まり事を徹底できた」と充実感をにじませた。

投手は3人の継投で敵第4安打、無失点。仲井宗基監督は「高めに浮いた球を打たれる場面はあったが、よくゼロに抑えてくれた」とねぎらった。